

第 37 回宇宙開発委員会 議事要旨(案)

1. 日時 平成 23 年 12 月 21 日(水曜日)14 時～14 時 50 分
2. 場所 文部科学省 18 階 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題
 - (1) 国際宇宙ステーションの日本の実験棟「きぼう」(JEM)の実験装置に係る安全の確保に関する調査審議について
 - (2) 第 18 回アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF-18)の開催結果について
 - (3) その他
4. 資 料
 - 委 37-1-1 国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」(JEM)搭載予定の実験装置(ポート共有実験装置/水棲生物実験装置)の概要と安全審査状況について
 - 委 37-1-2 国際宇宙ステーションの日本の実験棟「きぼう」(JEM)の実験装置に係る安全の確保に関する調査審議について(案)
 - 委 37-2 第 18 回アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF-18)の開催結果について
 - 委 37-3-1 宇宙開発の現状報告(平成 23 年 12 月 14 日(水曜日)～12 月 20 日(火曜日))
 - 委 37-3-2 第 36 回宇宙開発委員会議事要旨(案)
5. 出席者

宇宙開発委員会委員長	池上徹彦
宇宙開発委員会委員	井上 一
〃	河内山治朗

- 文部科学省研究開発局 参事官(宇宙航空政策担当) 松尾浩道
6. 議事内容
 - (1) 国際宇宙ステーションの日本の実験棟「きぼう」(JEM)の実験装置に係る安全の確保に関する調査審議について

国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」(JEM)搭載予定の実験装置(ポート共有実験装置/水棲生物実験装置)の概要と安全審査状況について、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(小沢室長)から報告があった。その後、国際宇宙ステーションの日本の実験棟「きぼう」(JEM)の実験装置に係る安全の確保に関する調査審議について、事務局(松尾参事官)から説明があり、委 37-1-2 を原案どおり決定した。

(委 37-1-1、委 37-1-2 参照)
 - (2) 第 18 回アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF-18)の開催結果について

第 18 回アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF-8)の開催結果について、独立行政法人宇宙航空研究開発機構梶井執行役)及び事務局(松原参事官補佐)から報告があった。

(委 37-2 参照)
 - (3) その他

宇宙開発の現状報告

宇宙開発の現状報告について、事務局から説明があった。

(委 37-3-1 参照)

議事要旨

第 36 回宇宙開発委員会議事要旨(案)について、原案どおり決定した。

(委 37-3-2 参照)